

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に基づく

教育委員会の点検・評価

(令和元年度対象)



令和2年6月

酒々井町教育委員会

1 はじめに

この報告書は、

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（第26条）の規定に基づき、令和元年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、学識経験者の知見を活用して点検及び評価を行い、作成・公表するものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

酒々井町教育委員会教育長及び教育委員名簿（令和2年4月1日現在）

職名	氏名
教育長	木村 俊幸
教育長職務代理者	石井 國治
委員	村重 浩二
委員	林 洋子
委員	大塚 益子

2 教育委員会会議等の開催状況

教育委員会会議は、原則として毎月1回「定例会」を開催し、必要に応じて「臨時会」を開催します。令和元年度は定例会を12回開催しました。

また、教育委員会の所管事項について調査・研究する委員協議会（意見交換会）を令和元年度は18回開催しました。（定例教育委員会会議に関する意見交換、教科用図書に関する意見交換など。）

3 教育委員会会議での審議状況

酒々井町教育委員会行政組織規則第5条の規定に基づき、令和元年度は合計で27件について審議しました。

- (1) 教育行政の運営に関する基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・1件
- (2) 教育委員会規則及び訓令を制定及び改廃・・・・・・・・・・・・・・7件
- (3) 予算その他議会の議決を要する事件についての意見申出・・・・10件
- (4) 教育に関する事務の点検・評価に関すること・・・・・・・・・・・・1件
- (5) 附属機関の委員の委嘱・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6件
- (6) 教科書その他の教材の取り扱い方針に関すること・・・・・・・・・・1件
- (7) 教育委員会の各表彰規程に基づく表彰・・・・・・・・・・・・・・1件

規則に基づく審議案件の他、報告事項、協議事項についても取り扱いました。

報告事項（43件）の概要

- (1) 教育委員会の各種行事等の報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12件
- (2) 町予算の議決に関する報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8件
- (3) その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23件

協議事項（3件）の概要

- (1) 選出依頼のあった各種協議会等の委員の選考・・・・・・・・・・・・2件
- (2) 成人式の対象者年齢及び実施時期についての協議・・・・・・・・・・1件

月別の主な審議議案等の概要

実施月	審議議案	報告事項	協議事項	主な審議案件等
4月定例会	2	3	2	・教育委員会行政組織規則の一部改正
5月定例会	5	5		・6月補正予算（案） ・私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則の一部改正 ・附属機関等委員の委嘱
6月定例会	4	9		・教育委員会の点検・評価報告書（案） ・教育委員会公印規則の一部改正 ・附属機関等委員の委嘱
7月定例会	3	2		・教育委員会行政組織規則の一部改正 ・教科用図書採択
8月定例会	1	3		・9月補正予算（案）
9月定例会		3		・公民館休館日の開館
10月定例会	1	2		・附属機関等委員の委嘱
11月定例会	2	3		・12月補正予算（案）
12月定例会	1	2		・教育委員会訓令の制定 ・12月補正予算の議決結果
1月定例会	2	1	1	・2月補正予算（案） ・教育委員会被表彰者の選考
2月定例会	3	4		・3月補正予算（案） ・新年度当初予算（案）
3月定例会	3	6		・教育施策の策定 ・附属機関等委員の委嘱 ・補正予算、当初予算の議決結果
合計	27	43	3	

4 事務事業の点検・評価の目的及び対象

効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくために、令和元年度教育委員会の基本理念、分野毎の重点的な取り組み、主な施策に基づく、各課、教育機関における主要事業を中心に、37事業について点検・評価を行いました。

5 点検・評価の方法

点検・評価の実施にあたり、教育委員会事務局で作成した「教育施策評価表」により実施しました。

評価は、主要事業の取り組み状況（達成度）について、実績・成果・課題を記述し、AからEの5段階で評価するとともに、今後の方向性を、拡大、現状維持、改善、統合、期限付、休止、廃止の7段階に評価する方法で行いました。

なお、法の規定に基づき、学識経験者3名にご意見をいただきました。

(1) 取り組み状況（達成度）

- A 予定どおり順調に達成している
- B おおむね順調に達成している
- C 達成見込みであるが課題がある
- D 達成できなかった
- E その他

(2) 方針の分類（今後の方向性）

- 拡大・・・事業を拡大充実する
- 現状維持・・・現状を維持継続していく
- 改善・・・対応すべき改善対策を付して事業を継続する
- 統合・・・独立した事業とせずに他の事業へ含める
- 期限付・・・終期を設定して、そのまま事業を継続する
- 休止・・・事業を休止する（復活の可能性あり）
- 廃止・・・事業をやめる

6 点検・評価の結果

事務事業評価表により点検・評価を実施した37事業の結果は、次のとおりです。また、詳細については、「令和元年度教育施策評価一覧表」を添付しました。

(1) 取り組み状況（達成度）

- A 予定どおり順調に達成している・・・25事業
- B おおむね順調に達成している・・・9事業

- C 達成見込みであるが課題がある・・・ 1事業
- D 達成できなかった・・・ 2事業

(2) 方針の分類 (今後の方向性)

- 拡大・・・ 2事業
- 現状維持・・・ 32事業
- 改善・・・ 2事業
- 休止・・・ 1事業

7 まとめ

当町教育委員会では、課題の取り組みや方向性を明らかにし、効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、町民の皆様への説明責任を果たし、信頼される教育委員会を目指すひとつの方策として点検・評価を実施しました。

また、令和元年度酒々井町教育施策として策定した基本理念「しなやかに・・・すこやかに・・・いきいきと・・・」に基づき、分野毎の重点的な取り組み、主な施策を策定し、これらに基づく各課、教育機関における主要事業について、点検・評価を行いました。

評価を実施した主要事業については、事業の目的に従い、計画的に実施されていることから、概ね適正かつ順調に執行されたものと判断していますが、実施方法に工夫や改善が必要である事業も見受けられますので、次年度の予算編成や事業計画を策定する上で検討を重ね、さらに町民の皆様のご意見を取り入れながら、高まる教育ニーズに対応することが必要であると考えています。

なお、今回の点検・評価の結果については、町ホームページによる公表を行いますので、町民の皆様からご意見等をいただき、今後の事務事業の執行に反映させていきたいと考えています。

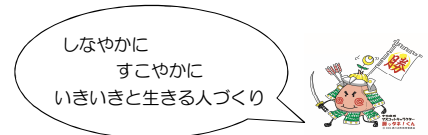
※ 評価委員会委員

職 名	氏 名
委 員 長	久 本 邦 夫
委 員	長谷川 睦
委 員	柳 橋 幸 雄

令和元年度事業に係る評価委員会開催状況

- 第1回 令和元年9月10日(火)
- 第2回 令和2年6月19日(金)

令和元年度教育施策体系図



人 自然 歴史が調和した活力あふれるまち 酒々井（将来都市像）
 豊かな心を育み歴史を活かした文化創造のまちづくり 教育文化（基本目標）
 しなやかに すこやかに いきいきと生きる人づくり（基本理念）

分野	重点的な取組	主な施策	主な事業
1 学校教育	(1) 教育環境の充実	・学校施設、設備の整備と改修・給食施設設備の改修等 ・通学路の安全確保	・大室小学校グラウンド改修・酒々井小学校用地公有地化・酒々井中学校グラウンド拡張 ・スクールバス運行・統合型校務支援システムの整備・通学路安全点検の実施 ・調理場内施設設備更新・管理施設設備の更新
	(2) 確かな学力の向上	・学習の手引きの活用・地域人材の活用 ・きめ細かな指導体制の推進・特別支援教育の充実	・就学支援委員会の開催・スクールサポート指導員、スクール支援員、介助員の配置 ・地域ボランティアによる学校支援
	(3) 豊かな心の育成	・学校図書館の充実と読書活動の推進 ・いじめ防止対策の推進・適応指導の推進 ・地域とともに歩む学校づくりの推進	・ネットパトロール及びいじめに関する実態調査・ケース会議の開催 ・図書館アシスタントの配置と読書活動の推進・学校適応専門相談員の配置
	(4) 教職員の資質能力の向上	・教職員研修への支援・教職員の教育研究活動への支援 ・適切な評価の活用	・大学等との相互協力・教育活動への助成・自己評価、学校関係者評価及び第三者評価の実施 ・職種経験年数及び教科領域に関する研修会の開催
	(5) 特色ある教育活動の推進	・人権同和教育の推進・環境教育の充実 ・国際理解教育の推進・保小中連携の推進 ・あいさつ運動の推進・郷土を愛する心の涵養	・ALT及び英語専科教員の配置 ・保小中連携推進事業の実施・人権、同和教育事業の実施 ・英語検定の受検料助成（パワーアップE） ・「酒々井学（ふるさと学習）子ども向け副読本」の作成・豊かな心を育むCTSプランへの助成 ・教育ファンリレーターの配置
	(6) 幼児教育の充実	・教育内容の改善・幼児教育に係る支援	・私立幼稚園就園奨励費補助、運営等補助・保育園児への英語活動、体育活動及び情操教育
	(7) 健康・体力づくりと食育の推進	・体力、運動能力の向上・競技力の向上・安全安心な給食の提供・食育推進・食物アレルギー対応	・部活動指導員の配置・大会参加経費の助成・地元産食材の利用・食材放射線測定 ・食育指導・食物アレルギー対応（お知らせ提供、除去食提供）
2 社会教育	(1) 学習機会の充実と学習活動の支援	・ライフステージに応じた生涯学習プログラムの充実 ・指導者等の育成・学習サークル活動への支援 ・学習情報の提供の充実・人権に関する関心の高揚 ・各種イベントの開催・公民館等主催講座の充実と学習成果の活用・子ども読書活動の推進	・成人式及び盛年式の開催・まちづくりフォーラムの開催（町長部局と共催） ・学習サークル一覧の作成・人権教育セミナーの開催・社会教育指導員の配置 ・しずい青樹堂及び青樹堂師範塾の開催・こども青樹堂（3・4年生）及び（5・6年生）の開催 ・コスモス会日本語教室・図書館講演会やおはなし会等の開催
	(2) 生涯学習の推進体制の整備	・人材養成とその活用・学校教育への支援・社会教育委員との連携・地域づくりに係る組織化の推進	・学校教育の支援促進・地域未来塾の開催・土曜日の教育支援体制等の構築 ・社会教育委員会議等の充実
	(3) 学習関連施設の整備	・施設、機器の維持管理・施設の円滑な運営と利用促進	・公民館の維持管理及び改修 ・プレミアム酒々井の管理運営・図書館資料の拡充及び図書館サービスの充実 ・公共ホール音楽活性化事業
3 スポーツ	(1) スポーツに参加できる環境の整備	・体育施設の整備検討・学校体育施設の活用促進 ・指導者の確保、養成・参加する機会の拡充と情報提供の充実	・町民体育館等活動の場となる体育施設整備の検討・学校体育施設の活用促進 ・指導者講習会への参加促進・スポーツ推進委員連絡協議会への助成 ・健康体育アドバイザーの配置
	(2) スポーツ活動への支援	・スポーツ関係団体への支援 ・スポーツ大会の開催	・各種スポーツ教室、大会等の開催・第70回印旛郡市民体育大会 ・体育協会への助成
4 青少年の育成	(1) 家庭の教育力の向上	・保護者等への支援・広報活動の充実・基本的な生活習慣習得への支援・家庭学習の充実促進	・家庭教育学級の開催・家庭教育に関する広報啓発活動・家庭教育指導員の配置 ・早寝早起き朝ごはん運動の実施 ・スマホ利用の啓発と家庭と考える「NOスマホデー」
	(2) 地域の教育力の向上	・子どもの社会参加の促進・学校教育への支援、協働 ・あいさつ運動の推進	・子ども会活動・青少年相談員による各種イベントの開催・北海道陸別町との児童交流 ・群馬県長野野町との児童交流・青少年おもてなしレッジの開催 ・地域学校協働本部
5 文化芸術	(1) 伝統文化の継承と文化財の保存・継承	・文化財の保護と活用・郷土芸能の保存、伝承の支援	・郷土研究会への助成・ボランティアガイドの育成、活用・本佐倉城跡の保存整備 ・文化財管理及び歴史的文書の保存利活用・まちの顔づくり推進事業 ・墨古沢遺跡の保存整備・町内埋蔵文化財調査事業
	(2) 文化活動の振興	・文化団体への支援・情報提供の充実・参加者の拡大	・文化協会への助成・町民文化祭の開催及び実行委員会への支援
6 国際交流平和教育	(1) 国際人の育成推進	・英語力の向上とグローバル人材の育成・国際交流の拡大	・中学生国際交流派遣事業
	(2) 平和を希求する意識の高揚	・命を大切に教育・環境教育・人権教育	・人権教育セミナーの開催
7 教育行政の推進	(1) よりよい地域・学校づくり	・学校地域における要望等の把握 ・学校給食費に関する公平化及び負担軽減	・教育や学校に関するニーズ調査 ・学校給食費収納事務・第3子以降学校給食費免除制度
	(2) 教育事業の説明の推進	・積極的な教育委員活動・教育委員会の活性化	・積極的な学校訪問及び意見交換会の開催・教育委員会会議の開催及び会議結果等の広報活動 ・教育委員会の点検評価・教育委員会表彰の実施

教育委員会の点検・評価

令和元年度 教育施策評価表

酒々井町教育委員会

令和元年度 教育施策評価表

	所属名 こども課
重点的な取組	(1) 教育環境の充実
主な施策	学校施設、設備の整備と改修
主な事業	大室台小学校グラウンド改修
事業の概要	大室台小学校のグラウンドは、永年の使用により高低差が生じ、また、砂の量も少なくなっており、雨や降霜による影響を受けやすい状態である。これまで何度か応急修繕で対応してきたが、その効果も薄れており、抜本的な対策が求められていることから、トラック部分を中心とする改修工事を実施する。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成30年度決算額	令和元年度決算見込額
		0	18,522
	令和元年7月24日から9月30日までの工期で、改修工事を実施(完了)した。内容は、校庭敷地掘削工(掘削・盛土)、グリーンサンドによる舗装工(表層工・表面処理工)、施設整備(コースロープ撤去・新設、フェンス撤去・新設)及び施設撤去・移設(遊具撤去・樹木移設)を行った。		
	工事の実施により、降雨や降霜後、グラウンドが使用できるようになるまでの時間が短縮された。また、高低差の解消により、グラウンド使用中の怪我のリスクが低減されるなど、成果を上げた。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する(復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



評価委員の意見	

令和元年度 教育施策評価表

	所属名 こども課
重点的な取組	(1) 教育環境の充実
主な施策	学校施設、設備の整備と改修
主な事業	酒々井小学校用地公有地化
事業の概要	酒々井小学校用地は、町有地が84.87%で、依然借地が15.13%残っていることから、将来にわたり健全で安定した学校経営ができるよう用地購入を進める。地権者の皆様に対して、町が用地の購入意思があることを絶えず文書等を含めて示すとともに、必要に応じて挨拶に伺うなど接触機会を増やすよう努める。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	D 達成できなかった		
実績・成果	事業費 (千円)	平成30年度決算額	令和元年度決算見込額
		57,624	0
	地権者の皆様に対して、町が用地を購入する意思があることを示す文書を郵送するなど、連絡機会を持てるよう努めたが、用地の購入には至らなかった。今後も引き続き、用地購入が進捗するよう地権者との連絡を継続する。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。) 将来にわたり安定した学校経営をしていきたい、そのための公有地化を進めたい、という町の考えを引き続き地権者の方々にお伝えし、ご理解いただけるよう努めたい。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	今後の学校経営の安定に向けて大切な事業であるので、引き続きご努力願いたい。

令和元年度 教育施策評価表

	所属名	こども課
重点的な取組	(1) 教育環境の充実	
主な施策	学校施設、設備の整備と改修	
主な事業	酒々井中学校グラウンド拡張	
事業の概要	①テニスコートの移設に向けて、文部科学省補助金をはじめ、有利な補助金・交付金の採択が受けられるよう諸調整を図る。 ②事業用地の購入に向け、地権者の皆様のご協力が得られるよう、必要に応じて事業説明等を行う。	

3月末の状況

取組状況 (達成度)	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成30年度決算額	令和元年度決算見込額
		13,425	417
	①テニスコートの移設に向けて、有利な交付金の採択が受けられるよう申請を行い、4月中に予定される内定を待っている状態。		
	②地権者の皆様と用地交渉の機会を設けたが、購入には至らなかった。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	
---------	--

令和元年度 教育施策評価表

	所属名 こども課
重点的な取組	(1) 教育環境の充実
主な施策	学校施設、設備の整備と改修
主な事業	統合型校務支援システムの整備
事業の概要	学校が抱える課題が複雑化・困難化し、学校の役割が拡大する中、これに比例して教職員の業務負担が増大している。教員勤務実態調査においても、看過できない教職員の勤務実態が示されている。統合型校務支援システムの導入は、教職員が児童生徒と向き合う時間を確保し、働き方改革を推進していくための有効な手段と考えられるので、必要な予算要求を行うなど、事業化に向けて検討を進める。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成30年度決算額	令和元年度決算見込額
		0	0
	統合型校務支援システムの導入にあたり、必要な物品の購入及び購入した物品のセットアップについて、年度内に完了しない見込みとなったことから、予算を令和2年度に繰り越し(町議会2月臨時会で議決済)、事業を実施することとなった。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する(復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	

令和元年度 教育施策評価表

所属名

学校教育課

重点的な取組	(1) 教育環境の充実
主な施策	通学路の安全確保
主な事業	スクールバスの運行
事業の概要	小学校への通学が不便な子どもたちを援助するため、墨地区には町所有のスクールバスを伊篠・馬橋地区には町社会福祉協議会に委託したバスを運行する。いずれの利用料金も町が負担する。なお、京成電鉄を利用する下岩橋地区の児童の利用料金も町が負担する。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成30年度決算額	令和元年度決算見込額
		14,492	14,565
	学校教育課でバスを所有し、シルバー人材センターで運転手を派遣してもらって事業を進めている。順調な運営ができています。		
課題・問題点	シルバー人材センターの運転手の人員が少ないことから、学校教育課が分担している墨方面のバス運行に影響がないか不安である。 今後、新入生及び転入生の増加によっては、乗車定員を超えることも考えられる。スクールバスとタクシーの併用運行を研究していきたい。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	

令和元年度 教育施策評価表

所属名 学校教育課

重点的な取組	(2) 確かな学力の向上
主な施策	きめ細やかな指導体制の推進
主な事業	スクールサポート指導員、スクール支援員、介助員の配置
事業の概要	一学級あたりの児童生徒数が多く、担任一人では、個々の実態に応じたきめ細かな指導・支援に限界がある。そこで、児童生徒の主体的な学習をサポートするためにスクールサポート指導員、スクール支援員、介助員を配置し、一人ひとりの十分な学びを保障する。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成30年度決算額	令和元年度決算見込額
		13,435	14,232
	特別支援学級の学習活動を個別に支援したり、通常学級で、学習につまずきのある児童生徒に個別の支援を行ったりする等、きめ細かな学習支援を行うことができた。		
課題・問題点	次年度より、名称を、スクールサポート支援員を学習指導等専門支援員に、また、スクール支援員を学習活動支援員とそれぞれ変更することとし、仕事内容と名称が一致するようにしたい。さらに、保健室に教員がいない状態を回避する手立てを考えたい。		



今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



評価委員の意見	

令和元年度 教育施策評価表

所属名 学校教育課

重点的な取組	(3) 豊かな心の育成
主な施策	いじめの防止対策の推進
主な事業	ネットパトロール及びいじめに関する実態調査
事業の概要	各学校ごとにいじめの実態を把握するため、年間5回いじめ実態調査を行います。教職員一人ひとりがいじめ問題の重要性を認識し、常に危機意識をもっていじめの未然防止・早期発見・早期解決に取り組みます。
	また、専門業者にネットパトロールの実施を委託し、子どもたちのスマートフォン等のトラブル防止に努めます。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成30年度決算額	令和元年度決算見込額
		96	97
	各学校に「いじめの基本方針」を周知し、いじめアンケートを年5回実施するなかでいじめ防止を進めた。また、9月から7ヶ月間のネットパトロールも終了した。大きないじめ問題は発生していない。		
課題・問題点	スマートフォン等によるSNS、ラインのトラブルについては指導している。子ども達と保護者と合同で、スマートファン教室等を開催する学校もある。今後も工夫を重ね、トラブル削減の方策を進めていく。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	大切な事業であるので、力を入れて進めていただきたい。

令和元年度 教育施策評価表

		所属名	学校教育課
重点的な取組	(3) 豊かな心の育成		
主な施策	学校図書館の充実と読書活動の推進		
主な事業	図書館アシスタントの配置と読書活動の推進		
事業の概要	児童生徒の豊かな心の育成に「読書」は欠かせない。様々な人々の思いや考えを学び取れる。学校において、図書館アシスタントを配置し、学校図書館の充実を図ると同時に、読書活動を推進することを通して、生涯、自ら学び続ける児童生徒の育成を進める。		

3月末の状況

取組状況 (達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成30年度決算額	令和元年度決算見込額
		4,797	4,734
	図書の購入を含め、各学校図書館の運営については、担当教員が学校図書館アシスタントと連携して計画を立てるとともに、授業での図書の必要性及び児童生徒の実態（興味・関心を含む）に即した図書館整備を進めることができた。		
課題・問題点	学校図書館教育について、公立図書館との連携をさらに進めるようにする。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	

令和元年度 教育施策評価表

所属名 学校教育課

重点的な取組	(3) 豊かな心の育成
主な施策	適応指導の推進
主な事業	学校適応専門相談員の配置
事業の概要	本町でも中学生の不登校生徒の増加が見られる。中学校においては「ほほえみ教室」を設置し、クラスに入れない生徒への対応を行っているが、学校敷地内に足を踏み入れることさえできない生徒には活用できない。そこで、町教育委員会で「ふれあいルーム」を設置し、生徒の学習活動を保障する。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	A 予定どおり順調に達成している	
実績・成果	事業費 (千円)	平成30年度決算額 2,148
		令和元年度決算見込額 2,148
	相談員を2名配置し、中学生(3年生1人、2年生1人、1年生1人)が通級した。3年生の進学先も決定した。	
課題・問題点	今後も小・中学校と連絡を取り合い、より個々の児童生徒の状況・実態に応じた支援を進めたい。	



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する(復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



評価委員の意見	

令和元年度 教育施策評価表

	所属名 学校教育課
重点的な取組	(4) 教職員の資質能力の向上
主な施策	教職員の教育研究活動への支援
主な事業	教育活動への助成
事業の概要	各小中学校には児童生徒の教育に係る研究を進め、きめ細かな教育を推進したいと考える意欲的な教職員が少なからず存在する。しかしながら、その研究を支援する制度が存在しない。そこで、町教育委員会において「教職員の特色ある教育研究支援事業」としてシステムを作り、教職員の意欲的な研究をサポートする。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成30年度決算額	令和元年度決算見込額
		400	400
	5月に教職員の特色ある教育研究補助事業審査会を行い、研究企画のプレゼンにより1席・2席を決定するとともに、補助金を概算払いで支出した。		
	2月下旬に活動報告会を実施し、研究の普及に努めた。		
課題・問題点	教員の働き方改革に反するとの意見もあるが、教員として、授業改善への努力は必要不可欠なものであると考える。教員の指導力の向上を図るべく、今後も本事業を継続していきたい。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	

令和元年度 教育施策評価表

所属名 学校教育課

重点的な取組	(5) 特色ある教育活動の推進
主な施策	国際理解教育の推進
主な事業	A L T 及び英語専科教員の配置
事業の概要	小・中学校における国際理解教育を推進するため、A L T を各小・中学校に一人ずつ配置し、チームティーチングによる指導を中心にして、コミュニケーション能力の向上を図る授業を行う。また、小学校には、英語専科教員を配置し、教職員の研修と学習指導の充実を図る。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	A 予定どおり順調に達成している	
実績・成果	事業費 (千円)	平成30年度決算額 17,288
		令和元年度決算見込額 17,182
	平成29年度よりA L T を各小中学校に1名を、さらに平成30年度より各小学校に英語専科教員を配置し、充実した英語学習が実現できている。小学校では、英語専科教員を中心とした研修を計画的に進めるとともに、担任が、授業終了後、直接、英語専科教員から授業に係るアドバイスを受けることも多く、それらの積み重ねによる指導力の向上がうかがえた。	
課題・問題点	小学校では、次年度より新学習指導要領の完全実施となる。より充実した英語教育のあり方について検討を進めていきたい。	



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



評価委員の意見	

令和元年度 教育施策評価表

所属名 学校教育課

重点的な取組	(5) 特色ある教育活動の推進
主な施策	保小中連携の推進
主な事業	保小中連携推進事業の実施
事業の概要	小・中学校において挨拶、掃除、時間、聞く、話す、の5点を重点項目とし、9年間の学校生活において子ども達に意識させて活動させるようにする。また、教科学習において、9年間を見通した学習活動が推進できるよう推進委員会を設置するとともに、年1回は「全体会」を、年3回は「分科会」を開催し、事業推進を図る。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成30年度決算額	令和元年度決算見込額
		300	300
	6月に特別支援学級小中交流会、10月には小中合唱発表交流会を実施し、町内の児童生徒の集まる場において、積極的に連携指導5項目について啓発した。特に挨拶については、11月に小中学校のあいさつ運動を行い、中学生が小学校に出向いて挨拶を啓発するキャンペーンを行った。「中学生のさわやかな挨拶を手本にしたい」との小学生の話が印象的であった。また、中学校と東京学館高校との合同あいさつ運動も実施することができた。		
課題・問題点	小学校の児童会や各種委員会、そして中学校の生徒会が中心になり、連携指導5項目について今後も継続的に啓発を続けていく。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



評価委員の意見	

令和元年度 教育施策評価表

所属名 学校教育課

重点的な取組	(5) 特色ある教育活動の推進
主な施策	人権同和教育の推進
主な事業	人権、同和教育事業の実施
事業の概要	小・中学校3校では、教育活動の基盤として「人権・同和教育」を推進し、心豊かな児童生徒の育成を進めている。しかしながら、「人権教育」「同和教育」はたいへん指導し難く、授業に係る研究が必要不可欠な領域である。そこで、3校が輪番で公開研究会を開催し、研究協議をとおして研究を深め、授業力の向上を図る。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成30年度決算額	令和元年度決算見込額
		592	595
	児童生徒の実態を分析しながら各学校で人権・同和教育の実践を集積し、11月30日には酒々井小学校で公開授業研究会を実施した。また、人権作文集及び人権・同和教育推進資料(第31集)を作成・発行を発行した。		
課題・問題点	人権の町「酒々井」にふさわしい、さらなる人権教育の推進を図りたい。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する(復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	

令和元年度 教育施策評価表

		所属名	学校教育課
重点的な取組	(5) 特色ある教育活動の推進		
主な施策	郷土を愛する心の涵養		
主な事業	豊かな心を育むCTSプランへの助成		
事業の概要	町教育委員会では、各学校の特色ある教育活動を推進している。そのため、各学校の校長裁量で活用できる予算を確保し、更なる推進を図る。		

3月末の状況

取組状況 (達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成30年度決算額	令和元年度決算見込額
		700	700
	それぞれに事業計画書にしたがって、事業展開した。各小中学校に補助金(小学校200千円、中学校300千円)を交付し、各学校の実情に応じた特色ある教育活動を推進することができた。		
課題・問題点	次年度も継続し、さらなる各学校の特色ある教育活動の推進を図っていき		
	たい。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する(復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	

令和元年度 教育施策評価表

	所属名 学校教育課
重点的な取組	(5) 特色ある教育活動の推進
主な施策	郷土を愛する心の涵養
主な事業	教育ファシリテーターの配置
事業の概要	これからの国際化に対応できる児童生徒の育成には、郷土を愛する気持ちの育成が重要となる。そこで、教育ファシリテーターを配置し、酒々井町を様々な観点から検証し、町内の人材の協力を得つつ、将来も地域で活躍する人材の育成を図る。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成30年度決算額	令和元年度決算見込額
		3,940	4,013
	教育ファシリテーターが中心になり、教員による推進プロジェクトチームと共に児童生徒向け副読本「いいね!酒々井」を作成した。また、小学校の郷土資料館整備も継続的に実施し、展示資料の解説やイラストパネル等を充実を図りつつ酒々井学の学習拠点として整備を進めた。		
課題・問題点	地域素材の有効な活用を今後も計画実施する。次年度は「酒々井学」の指導資料集「酒々井発見伝(仮称)」の作成を進める予定である。また、各小学校の郷土資料館を今年度同様、継続的に整備していく。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する(復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	
---------	--

令和元年度 教育施策評価表

	所属名 学校教育課
重点的な取組	(7) 健康・体力づくりと食育の推進
主な施策	競技力の向上
主な事業	部活動指導員の配置
事業の概要	中学校教職員の働き方改革を進めるには、部活動の指導時間の縮減が必要である。しかしながら、中学校の部活動は、生徒が楽しみにしている活動であり、保護者も、その充実を望んでいる。そこで、部活動指導員を導入し、中学校教職員の負担軽減を図るとともに、専門的な指導の充実を図る。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成30年度決算額	令和元年度決算見込額
		492	678
	2名を雇用し、中学校陸上部及び器楽部の指導を依頼した。顧問の教員と連携しつつ、専門性に基いたきめ細かな指導がなされた。		
	特に、陸上部では、競技力の向上が著しく、女子1名が全国大会に出場、他にも数名があと一歩で全国大会出場という状況であった。		
課題・問題点	次年度も継続し、さらなる部活動の充実及び教員の働き方改革を推進すべく、指導・支援を進めたい。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	
---------	--

令和元年度 教育施策評価表

	所属名	学校教育課
重点的な取組	(7) 健康・体力づくりと食育の推進	
主な施策	競技力の向上	
主な事業	大会参加経費の助成	
事業の概要	中学校の部活動には、地区大会、県大会等があり、生徒はその大会を目標に毎日の活動を精力的に行っている。しかしながら、各大会には移動が必要であり、毎回、保護者をお願いすることも困難で、どうしても有料バス等の手段を用いる必要がある。その予算の確保が不可欠であり、助成の充実を図る。	

3月末の状況

取組状況 (達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成30年度決算額	令和元年度決算見込額
		1,349	1,048
	中学校から補助金申請に基づき概算払いにより補助金を支出した。		
	中学校女子陸上で、関東大会及び全国大会に出場した生徒に対し、追加の補助を行った。		
課題・問題点	次年度も継続し、さらなる部活動の充実を図るべく、指導・支援を進めたい。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	

令和元年度 教育施策評価表

	所属名 学校教育課
重点的な取組	(1) 国際人の育成推進
主な施策	英語力の向上とグローバル人材の育成
主な事業	中学生国際交流派遣事業
事業の概要	酒々井町の未来を担う子ども達に世界を見据えた広い視野を育成すべく、酒々井中学校の生徒をドイツ、オーストラリアへ派遣し、子ども達の英語力向上を目指す。また、現地でのホームステイや様々な体験を通じて、国際理解教育を推進する。(ドイツ生徒の受け入れについては隔年での実施を予定しており、今年度は行わない。)

3月末の状況

取組状況 (達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成30年度決算額	令和元年度決算見込額
		6,349	7,705
	今年度はオーストラリアに13名、ドイツには10名の生徒を派遣した。現地ではホームステイ体験から他国の文化にふれることができ、解団式では体験したことや感想をしっかりと述べる事ができた。		
	中学3年生の英語検定3級以上の取得率が46.4%となり、昨年度の34.8%から大幅に伸ばす事ができた。		
課題・問題点	平成30年度より、オーストラリアとドイツの二カ国に事業拡大を図った。今後、両国ともバランスよい人数派遣を考慮したい。 経済的困窮状況にある家庭が参加しづらい状況にある。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	
---------	--

令和元年度 教育施策評価表

	所属名 生涯学習課
重点的な取組	(1) 学習機会の充実と学習活動の支援
主な施策	人権に関する関心の高揚
主な事業	人権教育セミナーの開催
事業の概要	①人権意識の向上と人権問題への正しい認識を図るため、町民を対象とした年間6回のセミナーを実施。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成30年度決算額	令和元年度決算見込額
		480	441
	第1回：部落差別問題について～差別戒名 70名参加。第2回：講演＋防災エンスショー「～東日本大震災を乗り越えて～いのちを繋ぐ言葉」141名参加。第3回：「オトナが知らない子どもの世界～教育臨床からみた児童・生徒理解～」 211名参加。第4回：「地域の豊かな人間関係づくり(人権問題に関する住民意識調査報告会)」 56名参加。第5回：「自分らしく生きるために～家田からのエール～」 222名参加。第6回：「あきらめない」102名参加。合計802名参加。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



評価委員の意見	

令和元年度 教育施策評価表

		所属名	生涯学習課
重点的な取組	(2) 生涯学習の推進体制の整備		
主な施策	人材養成とその活用		
主な事業	地域未来塾の開催		
事業の概要	①コーディネータの配置(1名)。		
	②中学生を対象とした学習支援(英語・数学)。年間37回実施。		

3月末の状況

取組状況(達成度)	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費(千円)	平成30年度決算額	令和元年度決算見込額
		575	340
	中学生の希望者を対象に元教員などの地域住民などの地域住民の協力を得て、学習支援の確率と基礎学力の定着を目的に実施した。		
	・実施日 日曜日の午後を中心に年間35回実施 (新型コロナウイルス感染予防のため2回休止)		
	・申込者数 1年:12人 2年:11人 3年:9人		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する(復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	中学生の出席率が低いとの説明があった。部活動や開催日など要因があり、事務局としても様々な対応策を講じていると思われるが、良い事業であるので、多くの生徒が出席できるように進めていただきたい。

令和元年度 教育施策評価表

		所属名	生涯学習課
重点的な取組	(2) 生涯学習の推進体制の整備		
主な施策	地域づくりに係る組織化の推進		
主な事業	土曜日の教育支援体制等の整備		
事業の概要	①コーディネーターの配置（3名）。		
	②小学3年生から6年生を対象とした学習支援（国語・算数）。		
	こども青樹堂（3・4年生）年間17回実施。		
	こども青樹堂（5・6年生）年間17回実施。		

3月末の状況

取組状況（達成度）	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成30年度決算額	令和元年度決算見込額
		1,367	1,651
	小学3・4年生対象の「こども青樹堂」では児童29名に15回（新型コロナウイルス感染予防のため2回休止）の学習会を実施し、国語（漢字の読み書き・意味等）・算数（加減乗除）等の基礎の学び方を学習することで自主的な学習活動を支えた。		
	小学5・6年生対象の「こども青樹堂」では児童21名に16回（新型コロナウイルス感染予防のため1回休止）の学習会を実施し、算数・国語の基礎基本習熟と発展的な学習指導を行った。		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。）		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	

令和元年度 教育施策評価表

	所属名 生涯学習課
重点的な取組	(1) スポーツに参加できる環境の整備
主な施策	学校体育施設の活用促進
主な事業	学校体育施設の活用促進
事業の概要	①学校開放体育施設の効率的な貸し出し。 利用団体数：49団体

3月末の状況

取組状況 (達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成30年度決算額	令和元年度決算見込額
		0	0
	学校、関係部署、関係団体、利用団体等と調整し、できるだけ多く利用できるように、学校開放体育施設の効率的な貸し出しに努めた。		
	利用団体数：51団体 1,307名		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	

令和元年度 教育施策評価表

	所属名 生涯学習課
重点的な取組	(1) スポーツに参加できる環境の整備
主な施策	指導者の確保、養成
主な事業	健康体育アドバイザーの配置
事業の概要	①生涯学習課に経験豊富な人材をアドバイザーとして配置。(1名)
	②スポーツ団体への支援。
	③小中学校部活指導教員への指導。
	④各種事業に係る調査研究。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成30年度決算額	令和元年度決算見込額
		2,338	2,341
	経験豊富な元酒々井中学校校長の加瀬先生をアドバイザーとして配置し、酒々井アスリートクラブの運営支援、小学校の陸上練習支援、中学校部活動支援及び各種スポーツ関係事業の相談・支援を行った。 また、大室台小学校プールの有効活用について検討し、小学生を対象とした水泳教室を3日間午前・午後の全6回実施した。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	

令和元年度 教育施策評価表

所属名

生涯学習課

重点的な取組	(2) 地域の教育力の向上
主な施策	学校教育への支援、協働
主な事業	地域学校協働本部
事業の概要	①町内各校のコーディネーターの配置。
	②地域住民等の参画による学校を核とした地域づくりの実施。 (郷土学習、下校の見守り、授業補助、学校行事支援、環境整備等)

3月末の状況

取組状況 (達成度)	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成30年度決算額	令和元年度決算見込額
		1,539	1,494
	町内小中学校それぞれのコーディネーターを中心に、地域住民や保護者の協力を得て、ミシン指導の補助やプール監督補助等の授業支援、環境整備等を行った。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	

令和元年度 教育施策評価表

	所属名 生涯学習課
重点的な取組	(1) 伝統文化の継承と文化財の保存・継承
主な施策	文化財の保護と活用
主な事業	本佐倉城跡の保存整備
事業の概要	①城山郭等の危険木・障害木の一部伐採。
	②昨年度実施した本佐倉城跡指定20周年講演会の記録集の作成・刊行。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成30年度決算額	令和元年度決算見込額
		9,250	4,291
	①城山郭の危険木・障害木である高木4本の伐採と周辺の樹木の剪定を終了した。		
	②普及事業として、昨年度に本佐倉城跡国史跡指定20周年記念事業として実施した講演会の記録集の作成・刊行(530部)を行った。記録集は関係機関に送付するほか、来年度には増刷して一般販売を行う予定。		
課題・問題点	城跡の今後の整備事業工程、指定地拡大の詳細については、町実施計画及び予算面と調整しながら、国・県と協議して検討を引き続き行っていく必要があります。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する(復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	

令和元年度 教育施策評価表

	所属名 生涯学習課
重点的な取組	(1) 伝統文化の継承と文化財の保存・継承
主な施策	文化財の保護と活用
主な事業	まちの顔づくり推進事業
事業の概要	①町登録有形文化財「筋吉五郎家」の公開に向けての内装工事。
	②町制施行130周年記念事業「筋吉五郎家」公開イベント。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	D 達成できなかった		
実績・成果	事業費 (千円)	平成30年度決算額	令和元年度決算見込額
		5,074	2,156
	①町登録有形文化財「筋吉五郎家」について町制施行130周年記念事業で行う公開イベントに向けて畳交換工事、襖や壁・天井等の内装修理工事を行った。		
	②しかし「筋吉五郎家」の公開イベントは台風15号による建物被害が大きく、見学も困難となり、安全確保が難しいことから中止とした。		
課題・問題点	具体的な町並み整備・内容については、景観計画との整合性を図りながら、引き続き県やまちづくり課と協議を行ない、検討を進める必要がある。また台風15号で被害にあった旧酒々井宿の町登録文化財建造物の修理・活用等の長期的・総合的な計画も今後考えていく必要がある。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input checked="" type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	町所有の指定文化財等について、今後も被害を受けることが想定される。既に検討していると思われるが、保険の加入方法等についても、さらに検討を進めていただきたい。

令和元年度 教育施策評価表

	所属名 生涯学習課
重点的な取組	(1) 伝統文化の継承と文化財の保存・継承
主な施策	文化財の保護と活用
主な事業	墨古沢遺跡の保存整備
事業の概要	①保存活用計画策定委員会の立上げ。
	②保存活用計画の策定業務委託(2か年計画の1年目)の実施。
	③保存活用計画策定に伴う地形測量の実施。

3月末の状況

取組状況(達成度)	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費(千円)	平成30年度決算額	令和元年度決算見込額
		9,470	5,915
	令和元年10月16日に全国初・日本最大級の「環状ブロック群」の遺跡として国史跡指定を受けた。		
	①遺跡を適切に保存・活用していくための基本方針やその方法などの策定を目的とし、有識者による保存活用計画策定委員会を10月に立ち上げ、2回の会議(11/29、3/2)を実施した。		
	②保存活用計画策定業務を委託により実施し、2か年計画の1か年目を終了。全体の約2/5について内容の作成を行った。		
	③保存活用計画作成に必要な指定地及び周辺の地形図の作成を行うため測量業務を委託により実施した。		
課題・問題点	指定後の各種計画の策定を国・県・有識者による指導を仰ぎながら進めなければならないほか、遺跡の周知・普及活動や今後の利活用の方向性、整備の方向性や周辺施設との連携、管理の方法、地元との連携なども考えていく必要がある。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにはほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する(復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	

令和元年度 教育施策評価表

	所属名 中央公民館
重点的な取組	(1) 学習機会の充実と学習活動の支援
主な施策	指導者等の育成
主な事業	しすい青樹堂及び青樹堂師範塾の開催
事業の概要	社会教育を振興し、まちづくりの指導者の養成を目指し、講座を開催する。
	①しすい青樹堂(2年制) 2クラス 年間23回講座開催
	②青樹堂師範塾(1年制) 1クラス 年間23回講座開催

3月末の状況

取組状況(達成度)	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費(千円)	平成30年度決算額	令和元年度決算見込額
		4,910	5,055
	住み良いまちづくりを実践していく、まちづくりの実践者及び幅広い知識と大きな視点を持ったまちづくりの指導者の養成するための講座を開催した。		
	①しすい青樹堂(2年制) 2クラス(18名) 年間23回講座開催		
	②青樹堂師範塾(1年制) 1クラス(14名) 年間23回講座開催		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する(復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	

令和元年度 教育施策評価表

	所属名 中央公民館
重点的な取組	(3) 学習関連施設の整備
主な施策	施設、機器の維持管理
主な事業	公民館の維持管理及び改修
事業の概要	開館より40年が経過した施設の改修を行う。
	①高圧受電キュービクルの改修 (12,080千円)
	②空調設備の改修 (2か年継続事業 R元年45,990 R2年39,600千円 合計85,590千円)

3月末の状況

取組状況 (達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成30年度決算額	令和元年度決算見込額
		7,611	6,714
	①高圧受電キュービクルの改修は、施設整備工事に合わせて、令和2年度に実施することとした。		
	②空調工事は、太陽光発電、LED照明他と合わせて施設整備事業として実施することとし、令和元年度実施設計、令和2年度工事を実施することに変更した。		
	令和元年度環境省補助金を申請、採択された。(2か年事業)		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		
	避難所となっているため、工事による一斉休館はできないため、工程の管理及び住民への周知を検討する必要がある。		



今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する(復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	

令和元年度 教育施策評価表

	所属名 学校給食センター
重点的な取組	(1) 教育環境の充実
主な施策	給食施設設備の改修等
主な事業	調理場内施設設備更新
事業の概要	洗浄室シンクの経年劣化が進み、漏水や破損があり、ウエット仕様であることから、これをドライ仕様に更新する。 開所当時から使用している排気ファン6台の経年劣化が進み、能力が低下している。また、破損している部分の部品が既に製造されていないため修理できないことから、2基ずつ3年計画で更新する。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成30年度決算額	令和元年度決算見込額
		799	3,771
	・洗浄室シンク更新 夏季休業の開始とともにシンクの更新準備を開始し、7月25日に完了した。		
	・排気ファン更新 夏季休業の開始とともに2基の排気ファンの更新工事の準備を開始し、7月25日に完了した。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	

令和元年度 教育施策評価表

	所属名 学校給食センター
重点的な取組	(1) 教育環境の充実
主な施策	給食施設設備の改修等
主な事業	管理施設設備の更新
事業の概要	開設当初から使用している男子及び女子更衣室のエアコンが経年劣化により能力が低下し、夏期及び冬期における調理員の健康面での支障があることからこれを更新する。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成30年度決算額	令和元年度決算見込額
		0	1,277
	調理員の熱中症対策を考慮し、4月から更新準備を開始した。5月から7月の週休日を利用してエアコンの入替工事を行い、7月9日に完了した。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	

令和元年度 教育施策評価表

	所属名 学校給食センター
重点的な取組	(7) 健康・体力づくりと食育の推進
主な施策	食育推進
主な事業	食育指導
事業の概要	小学1年生から6年生までの各クラスにおいて、学年に応じて「食」のテーマを設け、食に関する興味関心を高めるよう努める。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成30年度決算額	令和元年度決算見込額
		0	0
	栄養教諭等は小学校全学級に出向き、給食前の時間を利用し、学年に応じたテーマの指導を直接行った。また、学級担任による給食時間の指導を行った。		
	昨年度に引き続き小学校3年生と5年生で「魚」、新たに小学校4年生と中学校2年生で「野菜」を実施するための資料を作成し提供した。		
	また、新たに中学校の全校集会での食育講話を栄養教諭が実施した。その他、中学校3年生と小学校6年生の学級単位で献立を作成してもらい、実際の給食に取り入れた。このような取り組みを通じて、子どもたちに食に関する知識や関心、興味を持たせる機会となった。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにはほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	

令和元年度 教育施策評価表

	所属名	学校給食センター
重点的な取組	(7) 健康・体力づくりと食育の推進	
主な施策	食物アレルギー対応	
主な事業	食物アレルギー対応 (お知らせ提供、除去食提供)	
事業の概要	平成27年度に文部科学省から示された食物アレルギー対応指針に基づき児童・生徒の安全安心を最優先に国が表示を義務付けている7品目に加え表示を推奨している20品目について除去食、お知らせを提供する。	

3月末の状況

取組状況 (達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成30年度決算額	令和元年度決算見込額
		0	0
	当町の学校給食で対応する食物アレルギー原因食物は、国が表示を義務付けている7品目と表示を推奨している20品目 (計27品目) に対応することとし、量や調理方法にかかわらず完全除去としている。また、保護者や学校関係者に給食の使用食材のお知らせや除去食を提供した。令和元年度の対象者は16人で、そのうち除去食の提供者は8人、完全弁当持参1人であった。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		
	個々の食物アレルギーのある児童生徒の状況が複雑多岐になり、発生時の症状が重度となる子もいる。また、給食センター内に食物アレルギー専用の施設がないため栄養教諭や調理員に過度に複雑な対応を強いている。そこで、平成27年に文部科学省が示した学校給食における食物対応指針に基づいた、より安全な学校給食の提供を検討する。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input checked="" type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにはほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	

令和元年度 教育施策評価表

		所属名	学校給食センター
重点的な取組	(1) よりよい地域・学校づくり		
主な施策	学校給食費に関する公費化及び負担軽減		
主な事業	学校給食費収納事務		
事業の概要	平成29年度から学校給食費を公費化し、町が一括して徴収管理を行うこととした。これにより、教職員の事務の負担軽減、保護者の利便性の向上と振替手数料の無料化による負担軽減、会計の透明性や公平性を図る。		

3月末の状況

取組状況 (達成度)	C 達成見込みであるが課題がある		
実績・成果	事業費 (千円)	平成30年度決算額	令和元年度決算見込額
		1,207	1,037
	学校給食費の公費化により教職員の事務の負担軽減、保護者の利便性の向上と振替手数料の無料化による負担軽減が図られた。		
	会計の透明性や公平性を図るため、学校給食費を長期に滞納している保護者に対し訪問徴収を実施し、収納を促すとともに児童手当からの天引き制度の利用を勧めた。また、簡易裁判所による支払督促制度も利用した。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		
	学校給食費は税金と異なり私債権なので、回収には民法が適用される。		
	長期にわたり滞納された学校給食費は、時効が発生しても債務者である保護者が「時効の援用」をしない限り町の債権として残ってしまう。		
	そのようにならないよう、在学中に学校給食費の納付を促しているが、簡易裁判所からの支払督促通知を受理しない者もいるため苦慮している。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにはほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	

令和元年度 教育施策評価表

		所属名	プリミエール酒々井
重点的な取組	(1) 学習機会の充実と学習活動の支援		
主な施策	子ども読書活動の推進		
主な事業	図書館講演会やおはなし会等の開催		
事業の概要	「酒々井町子ども読書活動推進計画」に基づいた各種取組を行う。 読書意欲の向上を目的とした読書通帳の配付、4歳以上を対象に絵本の読み聞かせを行うおはなし会(月2回)、幼児と保護者を対象にしたわらべうたの会(月1回)、昨年度貸出冊数の多かった児童を表彰する多読表彰式(5/11)、夏休み子ども映画会(5回)、工作教室(1回)、子育てや読み聞かせをテーマとした図書館講演会(11/30)を開催する。		

3月末の状況

取組状況(達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費(千円)	平成30年度決算額	令和元年度決算見込額
		131	70
	読書通帳配付(278冊)、おはなし会(20回・125人)、わらべうたの会(10回・83名)、夏休みこども教室(1回・27名)、夏休み子ども映画会(5回・179名)、図書館講演会(1回・39名)、読書に関するアンケート(小学校5.6年生、中学校1.2年生)		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにはほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する(復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	

令和元年度 教育施策評価表

所属名 プリミエール酒々井

重点的な取組	(3) 学習関連施設の整備
主な施策	施設の円滑な運営と利用促進
主な事業	図書館資料の拡充及び図書館サービスの充実
事業の概要	利用者の多様化するニーズに対応するため幅広いジャンルの資料収集を行うとともにレファレンスサービスや障害者サービスの充実、郷土行政資料の積極的な収集・保存・活用を図る。また、図書館報の作成や企画展示等、図書館ホームページを用いた情報発信、提供を積極的に行い、利用の促進を図る。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成30年度決算額	令和元年度決算見込額
		5,470	4,955
	購入数：図書2,380冊、視聴覚資料27点 (うちリクエスト購入：722冊)		
	利用者からのリクエストを優先に蔵書のバランスに配慮し購入を行った。		
	図書館報の発行 (4回)、企画展示の実施 (一般書8回、児童書11回) レファレンスサービス (1,176件)		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにはほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	

令和元年度 教育施策評価表

	所属名	プリミエール酒々井
重点的な取組	(3) 学習関連施設の整備	
主な施策	施設の円滑な運営と利用促進	
主な事業	公共ホール音楽活性化事業	
事業の概要	町制施行130周年記念事業として、文化ホールの活性化と地域の文化的な芸術活動のための環境づくりを行うため、音楽会等を開催するとともに、文化ホール職員の企画・制作能力の向上を図る。	
	「ふるさと酒々井ふれあい音楽会」	
	1/23(木) 出前音楽教室 大室台小3年生2クラス	
	1/24(金) 出前音楽教室 酒々井小3年生3クラス	
	1/25(土) プリミエール酒々井文化ホールにてコンサート 演奏者はフルートとクラシックギターのデュオ	

3月末の状況

取組状況 (達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成30年度決算額	令和元年度決算見込額
		0	333
	ふれあいミニミニコンサート	大室台小学校1/23	50名
		酒々井小学校1/24	60名
	しすいふれあいコンサート	プリミエール酒々井1/25	大人147名・子ども30名
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input checked="" type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	